

は劇薬のやうな物であつてその分量によつては或は人を活かし又人に害を興へるものであります、エックス線を生ぜしむるガラス球には硬球と軟球とがありまして硬軟の度が球中にある炭素の作用により多少變化するやうにはなつてをります、エックス線に對する相當の知識と熟練とのない人にむかつてはエックス線は一般に危険なるものであります。

# 蔬菜類の家庭栽培

東京園藝商會篠氏談

家庭栽培として極く簡易な方法で蔬菜類の栽培が出来、出来る之を行ふには今日此頃では矢張り苗で買入れて植付けるのが宜しい、縁日商店などでも澤山賣つて居るが其種類は先づ茄子、胡瓜、菜豆、玉蜀黍、刀豆、唐辛、紫蘇、トマト、南瓜、苺、絲瓜等之等は皆誰にでも容易に栽培する事が出来る、又我家園に出来た珍物として臨時の來客の食用に充てたり或は贈物とする事も出来る、或は又兒

童のある家では之を娛樂用に供し若しくは教育の材料として植物思想を養はせることも出来るのである、以上の種類の外種子を播いて栽培するには四季とも何時播いても差支へ無いものである、即ち二十日大根、鶯菜、小蕪菁、三寸人參(時なし)人參とも云つて、菅、龜井戸大根等即ち之である、以上は嚴寒の候を除いて春初から秋晩に至るまで何時播付けても出来るものであるから素人の栽培には最も適して居て日々の惣菜に供すれば至極便利である、又狭小な家園の三坪五坪位しか無いやうな畑地には葱、生薑、秋の馬鈴薯等は何時でも重寶で日用に供し得られる、稍廣い畑地を有する處では少々難しいかも知れぬが水瓜、真桑瓜、越瓜、冬瓜等も善い、是等は特に専門の智識が要るけれども少しは試みに栽培して見るが宜しからう。

八月の末から九月に入つて秋蒔を爲すべき種子で西洋蔬菜物に面白いものが澤山ある之を素人には少し難しいかも知れぬが、然し充分の繁殖が出来ずとも可なりの收穫を得んとするには譯はない、其種類を記せば甘藍、花野菜、木立花野菜、豌豆、

蠶豆、練馬大根、大蕪菁、三河島菜、唐菜、午莠、人參、葱、馬鈴薯等は皆秋に蒔いて善いものである、次には右等の栽培方法を記して見やう。

▲茄子の栽培

茄子には色々の種類がある、漬物に用ふるには山茄子（東京が本場）及び長茄子の二種がある、煮物又は鴨焼として賞味するには、京都芹川産の大茄子が最も良種で、種類の上から云つても稀物で少ない、尙ほこの外日向の佐土原茄子及び南部茄子、又は支那産のもの、西洋種のもの等一々數ふれば却々多いが、何れも特色を具へて居る、之を栽培するには今から種子を播いては、少し時期が遅れて居るから、種物屋で苗を買入れて植付けけるのが宜しい、而して苗の栽ゑ方は其間隔を二尺位宛離して栽ゑ、肥料は重に下肥と木灰を與へ、其木灰に初め苗を植付けける際に根側へ施し次で時々下肥を與へて怠らなければ、次第に生長して盛に結實するのである、一體茄子には徒花が少ないから、毎日々々結實し誠に樂しみなものて一本の木に少くも五十個以上は成果する然し連作を嫌つて、今年茄子を栽ゑた畑地へは翌

年他の作物を栽ゑる方がよい再び茄子を栽ゑては其の作果は甚だ面白くないものである又茄子を五六十個も收穫して仕舞つて木の衰へた時分二百十日の風雨の爲めなどに木が斃れたりして傷むことがあるが此際には上部の枝を摘取つて再び他の畑地へ移植して更に肥料を施せば二度成と云つて再度作果するものである其成つた果粒は小さいけれども澤山に成るのであるから種々の調理に使ふことが出来る、特に芥子漬又は糠漬等に供して至極妙である。

▲胡瓜の栽培

胡瓜の早成種では三枚目節成胡瓜と云つて澤山作果するもの及び白俵等と云ふ種類は有名である又西洋種の長手で刺の無いのがある之は形狀長大であるけれども風味は我邦産のものに比べて大に劣る所がある。但し西洋胡瓜は其内部へ肉類を詰込んで食ふのであるから、自から其用途が違つて居る故に不味くても差支ないのである、胡瓜を栽培するには二様の方法がある即ち東京近在で行つて居るのは苗の時分に時々植替を行ひ先づ根を健全にして置き左様して許多成果を

せるのである又關西で行つて居る方法は蔓の出た  
時其心を止め又出れば出摘取ると云ふ様にして枝  
を多く拵へ其枝毎に成果させる遣り方である双方  
とも實驗して見たならば其優劣が判つて面白から  
うと思ふ肥料は素人用には油粕又は糠を與ふれば  
充分生長して成果するものである。尚ほ又栽培法  
に一種面白い方法がある、普通には垣根又は竹竿  
を添へて蔓を纏せるのであるが素人用の菜園など  
では立木の幹に蔓を纏はせるゝ初冬霜の降る頃ま  
でも能く生育して數多の收穫を爲すことが出来る  
のである。

▲菜豆の栽培、菜豆には蔓有りとなし無しの二種が  
ある、日本の在來種では八つ房黒の蔓無し等が有  
名で、西洋種では米國のロングヘロー又はパラン  
チフル等は評判が善い、栽培法は最も容易で素人  
用に適し、誰にても作ることが得、肥料は別段要  
らぬ位で、木灰を少し與へればそれで充分である。  
▲王蜀黍之も菜豆と同じやうに栽培に世話が要  
らぬ、肥料も殆んどやらなくともいゝから家庭用  
に適し花壇の周圍、又は垣根の傍等へ栽ゑて置

けば善い、特に兒童のある家では、玩弄になつて  
面白いものである、種類は甘い味を有つて砂糖玉  
蜀黍、又は甲州玉蜀黍等は良好で、洋種には爆玉  
蜀黍と云ふのがあつて、實が爆せて出来る、總じ  
て玉蜀黍の實を盛に成果させやうと思へば、成果  
する以前に、先づ穂が出て花が咲く、其花の咲く  
前に、穂端を折取つて置けば良好な實を得る事が  
出来る。

▲刀豆 垣根のある處では刀豆を栽ゑるのも面白  
い、之は赤と白と二種ある、肥料と下肥を與へぬ  
方が善い、第一扱ひ難いから素人には適せぬ、其  
れよりは糠又は木灰の類を少々施肥すれば充分繁  
殖する又之を食用に供するには、極若い夾の小さ  
な時を見計つて採收し、味噌漬又は油で熱めて食  
すれば善い、成熟した後夾の堅くなつたものは食  
に堪へぬ、特に其赤色の種の成熟したものを食へ  
ば、中毒する時による發狂する恐れがある。  
▲唐辛 これる亦栽培の容易なもので、誰にでも  
作り得る、食料以外に觀賞用としても却々美麗  
である、別に一種葉唐辛と云つて辛くないものが

ある、其葉を煮たり焼いたり醬油に浸したりして食へば酒の肴などに持つて來いである、日光唐辛は名高く、鷹の爪は形狀が小さいけれど辛味の強いことは一番、其他西洋種にも種類が甚だ多い、要するに以上は著名のもの二三を挙げたので、悉く枚擧すれば限りがない。

▲紫蘇 は赤と青の二種類がある、之は何處へ栽ゑても能く出来るもので、肥料は別に要らぬ米の洗汁等を與へれば充分である、家庭の料理用には用途の多いもので、空地へ栽ゑて置けば至極重寶で便利である又梅を漬けるには是非必要である。

▲トマト は一名赤茄子とも云ふ、元々洋種であるけれど、茄子と同一の栽培法で盛に繁殖する而して花の着いた頃枝端を止ぎ、摘取つて造ると、更に枝を出し、數多く成果するものである、種類は却々澤山あるが其最も大なるものに至ると、梨の果實位の大きさがある、之をボンデロサと云ふ、又形の小さなものは、櫻實位で、之をチニリートマトと云つて居る、我邦で現今栽培せるものはフリードント云ふ種類が最も多く、又果實の色彩

は赤と黄の二種がある、丁度昨今の季節に栽ゆれば、九月頃に成熟して食膳に供することが出来る。

▲南瓜 の栽培法は既記の胡瓜など、同様で垣根のある處ならば其れに蔓を纏はせ、又畑地の廣い處ならば地上に匍はせ、何處でも作ることが出来る、種類は縮緬(府下大崎村が本場)菊座(雜司ヶ谷種)京都の鹿ヶ谷、出羽の庄内、静岡の見付、九州の三毛門等が有名である、又西洋種には觀賞用のものが多くあつて、其形と云ひ色合と云ひ、奇怪な状態のものあれば又色彩の綺麗なものもある、是等を適用して支那風の陳列をする場合に、盛物に使用したならば趣があつて頗る面白からうと思ふ。

▲苺 之れは皆西洋種のみである、而して外國では年毎に新種を作り出し、今日では數多の種類の出來て居る、然し我邦で普通に栽培して居るのはピクトリヤドクトルモレル、アルガレット等が多く、尙此の外に四季成と云ふのも上來て居る、若し空地の有る處では苗を買入れて適宜に栽培し

て試みるが善い、少し手を入れて世話をして遣れば盛んに繁殖するものである果實を結んだ頃に、根の側へ糞を敷いて遣れば、雨の爲めに泥の付くを防ぎ越冬の際は木の上から糞を蔽ふて置けば、別段霜除を爲る必要はない、

▲丝瓜 大長と云つて長さ五尺餘もあるのがある形は細長く最も大きい種類である、之を栽培せんには、肥料として別に要らぬが然し特に長大のを作らうと思へば、米の洗汗を時々與ふれば盛んに繁殖する、而して垣根の傍へ植ゑ、其れに蔓を纏はせて置き、其果實を結んだ頃は、誠に風雅で觀賞に堪ゆるものである、又其果實の極若く内部に纖維の未だ出来ない時を見計ひ、採取して漬物にすれば、食用に適し、又充分成熟して長大に成つたものを收穫すれば、之を水中に投じて置き、外皮を腐敗せしめ、内部の纖維だけを取つて乾し、貯へて置けば平常物を洗ふ時に用ひて甚だ重寶である、

▲蒔に物の役にたぬものを丝瓜の皮と云ふのは則ち之れで、其外皮は打捨て、内部の纖維のみを利用するのである

▲何時でも播ける種物は二十日大根、鶯菜、小松菜、小菁蕪、三寸人參の類であるが、二十日大根の中には根の色に黄、赤、白、紫、赤白半のものの等いろ／＼ある、又形状は蕪形のもの、眞圓のもの徳利形のもの等がある、之を栽培するには苗床を描へ、其れに植付けて、隨時採收して日常の惣菜に用ゆれば、根も葉もともに食ふことが出来る、又鶯菜小松菜等の早成生のもの、又は小蕪青、三寸人參等も時なしに何時播種しても差支ない而して何れも漬物又は煮物、汁の味等に使用すれば、自家の作物で日用の間に合ひ、甚だ重寶である、之等は畑から採收した後半は空間の出來次第、更に再び播種して置けば絶えず何でも收穫することが出來、頗る便利である、但し人參計りは十月以後栽培したもののは赤く色付かず、黄色になるのが常である

▲葱は千住が本場であるが、栽培法は頗る面倒なもので、家庭用として少し難かしいけれども少量播種して置くには充分作り得ることが出來たさのみ難かしいことではない、若し便宜があつた

ら農家から若葱を分けて貰ひ、其を栽ゑて置いて  
 食料に供するのが便利である、種類は千住葱、岩  
 槻葱、下仁田葱等が良種である、又玉葱の栽培は  
 更に一層難かしく、専門の技量を要し、到底家庭  
 用に不適當であるから、茲には省略して置く  
 ▲馬鈴薯を栽培するには、八百屋で泥芋を買つ  
 て来て、而して縦横何れとも二つ切りにし、其切  
 口へ灰を塗抹し栽ゑて置けば、發芽するものであ  
 る、若し其發芽が餘り多過ぎた場合には芽を摘取  
 つて健全なもの一二本のみを残して置けば善い、  
 時期は八月頃栽ゑたものを十一月に掘起せば澤山  
 美事な芋が成熟して居る、肥料は栽ゑる際に木灰  
 を少量根側に與へ其後は薄肥を施せば充分繁殖す  
 るものである

▲生薑 これも八百屋で泥付のを買つて来て栽ゑ  
 て置けば時に臨んで役に立ち至極便利である、新  
 生薑を作らうと思へば春四月頃に栽付くれば七月  
 末には美事に出来る、而して之を作るには一の秘  
 訣がある、この方法は一國の一地方で行つて居る  
 のである初め泥生薑を栽付ける際に根を逆さまに

して栽ゑれば其根の圍邊から簇々と新芽を發生し  
 新生薑が澤山に採れるのである其遣り方は甚だ奇  
 妙だが實際になる、或る植物學者は之を見て大に  
 感服したと云ふが皆さんも一つ試験して見ては如  
 何です

▲其他の蔬菜類 以上は極く普通の蔬菜類の栽培  
 法に就いて述べたので家々の庭園で僅か三坪か五  
 坪位の空地があれば之を利用して朝夕の惣菜の足  
 しに出来る位のものを作るべき方法を示したので  
 ある而して小松菜たの小蕪蕪、二十日大根の如き  
 は何れも皆種子を買入れるに極めて廉價で手に入  
 り又收穫すれば跡へくと繰返し幾度でも播種す  
 ることが出来る、栽培法も又至極簡單で家庭で用  
 務の片手間戀み半分に遺れるから娛樂と實益を兼  
 ね其の上失敗がない栽培上成績の良いことは請合  
 である尚ほこれ以上廣い畑地を持つて居て充分栽

培の方法が立つて居る所では前に述べた種類の外  
 に西洋蔬菜の甘藍、玉葱、花野菜、越瓜、人參等  
 又は我邦産の特別な菜類若くは大蕪菁類等を少し  
 専門的に栽培するのも一層趣味があつて面白か

らうと思ふ何れにしても種子を買入れる際には最  
 も注意を要し發芽良好にして種類の正確なるもの  
 を選まなければならぬ若しこの注意が無かつたな  
 らば折角の勞力も徒らに無効となつて大失敗を來  
 すことになる、然し乍ら本來蔬菜類であるから他  
 の難しい花卉類の種子とは違つて全然發芽せぬも  
 のは少なく大抵は發芽するに相違ないが種類の正  
 確なるものを選ぶには大に注意を爲なければなら  
 ぬ、そして地味の良否も栽培上大に關係のある  
 もので砂利地又は粘土質の土地等は宜しくない、  
 素人の家庭用には成るべく發芽し易い種物を選択  
 して試験的に着手して見るのが最も安全で宜から  
 うと思ふ

